

委員会の主な活動状況

(2/11~3/10)

総務委員会

「辺野古新基地建設中止と普天間基地運用停止について議論を深め公正に解決するよう国に対して意見書の提出を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(3/2)

財政市民委員会

第3次札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画(案)および中央区複合庁舎整備事業実施方針(案)について市民文化局から説明を受け、質疑を行いました。(3/2)

「エカシ・フチのための温泉付き公的ホームの早期実現を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(3/3)

文教委員会

市立幼稚園の今後の在り方に関する方針(案)について教育委員会から説明を受け、質疑を行いました。(2/20)

厚生委員会

「生活保護法第63条に基づく返還額における慰謝料の取り扱いに関する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(3/2)

建設委員会

今冬の除雪概況と少雪対応について建設局から説明を受け、質疑を行いました。(2/18)

札幌市下水道ビジョン2030(案)について下水道河川局から、さっぽろ建設産業活性化プラン(案)について建設局から説明を受け、質疑を行いました。(3/2)

総合交通政策調査特別委員会

都心アクセス道路についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(2/19)

第一部・第二部予算特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(2/27)

お知らせ

インターネット中継

本会議や特別委員会の模様は、インターネットで生中継しているほか、会議終了からおおむね5日後(土・日曜、祝・休日を除く)には、録画映像も公開しています。市議会ホームページからご覧ください。

■編集 札幌市議会議務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai



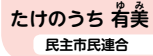
スポーツに取り組むための環境づくり

問 スポーツには「する」、「みる」などさまざまな関わり方がありますが、市民がスポーツに取り組むための環境づくりについて、どのように考えていますか。

答 多様化する市民や時代のニーズを踏まえながら、将来にわたり、障がいの有無などに関係なく、誰もがスポーツに触れ、楽しむことができる場所や機会を充実させます。

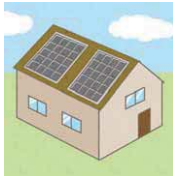


再生可能エネルギーの積極的導入



問 環境首都・札幌の実現に向けて積極的に再生可能エネルギーを導入すべきだと考えますが、今後どのように取り組むつもりですか。

答 令和2年度からは、これまでの補助制度に加え、新たな取り組みも行いながら、再生可能エネルギーの普及拡大を目指します。



第1回定例会

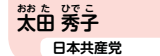
(3/10までに可決した議案など)

- 令和元年度一般会計補正予算主に、次の内容で総額197億3,150万円を補正するものです。
 - ・道路等災害復旧費
 - ・教育の情報化推進費
- 新型コロナウイルス感染症の早期終息に向けた対策の強化を求める意見書など、合計30件の議案などを可決しました。

問 本市におけるスキー場をはじめとしたスノーリゾートの形成に向けた今後の展開について、どのように考えていますか。

答 スキー場や観光関連事業者などさまざまな関係者が一体となった取り組みが必要であるため、令和元年度内をめぐりに推進組織を設立する予定です。この組織を核に、スノーリゾート推進に向けた計画を策定し、冬季オリンピック・パラリンピックの招致や北海道新幹線札幌延伸を見据えながら、他市町村とも連携して世界レベルの一大スキーリゾートエリアの形成を目指し、外国人観光客の拡大につなげていきます。

性的マイノリティ支援、現物給付による子育て支援



問 性的マイノリティ当事者に対しては、当事者の意見をよく聞き、戸籍上の夫婦と同じサービスを提供するなど直接的な支援を拡充するべきだと考えますが、いかがですか。

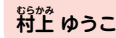
答 4月からパートナーシップ宣誓制度利用者の市営住宅入居を認めることとしました。企業でも性的マイノリティ当事者に配慮した取り組みがさらに広がるよう、意見を伺いながら、多様性を認め合う社会の実現を目指します。

問 子育て支援、少子化対策にとって、子ども医療費の助成などの現物給付は最も効果的な支援であり、市民が望む支援であると思います。子育て世帯のニーズに合わせて現物給付を拡大するべきだと考えますが、いかがですか。

答 これまでに引き続き、今後も子育て支援の環境整備に積極的に取り組んでいくとともに、全国的な課題として、国に対して財源措置も含めた制度の拡充について要望していきます。



森林環境譲与税による地域材の活用、多死社会に向けた施策



問 地域で生産された木材である地域材の活用は、地域経済への波及、雇用創出などにつながります。多くの非木造建築物が建てられている本市においては、国から配分される森林環境譲与税を用いて、まずは公共建築物の地域材による木造・木質化を進めることが重要だと考えますが、どのように地域材を活用していくつもりですか。

答 学校や中央区保育・子育て支援センター、新MICE施設や中央区役所新庁舎など、子どもや多くの市民が利用する施設への活用を図ることで、地域材の良さや魅力を伝えていきます。



問 団塊の世代をはじめとする人口の多い世代の高齢化により、天寿を全うされて亡くなる方が多くなる「多死社会」が到来しますが、火葬場や墓地の問題について、どのような施策を進めていきますか。

答 令和元年度中に、火葬場や墓地の安定運営と市民の意識醸成を施策の柱とする「(仮称)札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定する予定です。この構想に基づく取り組みを進め、多死社会においても市民が安心して暮らし続けられる札幌を目指していきます。

婚活事業、スノーリゾート形成



問 本市の婚活事業「若者出会い創出事業」の成果と課題をどのように評価し、新たにどのような視点を盛り込んで取り組んでいくつもりですか。

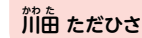
答 事業参加者の約半数がこれまで婚活イベントに参加したことがない方であり、若者が一歩を踏み出す契機となっていると認識しています。一方、結婚に前向きになれたと答える方や、実際まで至った方は少なく、実施手法などに検討の余地があると考えています。次年度は、民間事業者や周辺自治体との連携や、対象年齢の柔軟な設定など、新たな取り組みも検討していきます。



市議会の動き

2月18日に招集された第1回定例会の中から、2月25日、26日、27日の代表質問の主な内容や、3月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

北海道所管の観光施設との連携、新さっぽろ駅の乗り継ぎの利便性



問 世界に誇れる観光都市を目指す本市においては、北海道庁旧本庁舎など北海道が所管する観光施設と積極的に連携しながら札幌全体の観光の魅力を充実させることにより、市内の周遊を一層促進させ、観光消費の拡大を目指していくべきだと考えますが、いかがですか。

答 北海道が札幌市内に有する知名度の高い観光資源と、本市や民間事業者などが持つ観光資源が連携することにより、魅力的な周遊コースの創出につながるものと認識しています。今後も、集客力の高い市内のイベントや国内外における観光プロモーションの場において、北海道と札幌市が相互に連携しながら札幌の魅力を発信し、市内周遊の促進につなげていきます。



問 北広島市における北海道日本ハムファイターズのボールパーク開業を見据え、地下鉄新さっぽろ駅周辺の乗り継ぎの利便性確保と駅周辺のまちづくりについて、どのように取り組んでいくつもりですか。

答 本市も参加するオール北海道ボールパーク連携協議会における協議の進捗などを注視しつつ、必要に応じて対策を検討していきます。例えば、新さっぽろ駅前広場において、交通機能を高めるための改修を令和4年度までに行うこととしており、ボールパークへのシャトルバスが発着可能な待機場の整備も行う予定です。